

こもれび

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	6	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	サービスの意義をスタッフ全員で確認し、地域との関係強化を図った理念を作り上げている。地域や利用者のニーズ、状況の変化を見極めながら作り変えることも検討していている。	0	
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	採用時、理念を伝え理解を求め毎朝礼時に復唱している。各ユニットに掲示しミーティング等の時々必ず確認をしている。誰に聞かれても理念を言える教育を行いながら、スタッフ全員が理解しているかを日々確認している。	0	
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念を視線の位置に掲示し訪問時に関心を頂くようにしている。見学等の時必ず説明をしている。	1	交流会等の場で必ずふれる事が必要であるし、今後便りなどを活用し、便りに掲示していきたい。	
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	1	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々と触れ合う機会が多く、挨拶を交わす事が多い。駐車場の関係なども有り、気軽に挨拶して頂きスタッフにも教育している。	0	
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ボランティアの方々との交流が多く、毎月依頼がある。地域の行事等を案内して頂き積極的に参加している。今後も利用者のかたと一緒に参加していきたい。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	認知症ケアの啓発に積極的に努めている。実習生の受け入れも積極的に行っている。地域推進会議等の場で啓発している。	1	地域住民を対象とした認知症の理解等の勉強会を開催して地域からも相談受け入れられる様体作りをして行きたい。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全職員で行い、サービスの質の向上に努めている。外部評価の結果をふまえ改善に向け全職員で取り組んでいる。勉強会等の場で再確認している。	0	
	3	8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での検討事項については、経過を報告し地域の方からの意見要望を受け、課題を検討している。	1	定期的を開催出来るようにしていきたい。議題においても双方の意見を出し計画していきたい。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	相談窓口に出向き指導を受けサービスの取り組み等を伝えている。	1	担当職員の方との交流が必要であり、勉強会等の開催を検討していきたい。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	全体研修会の中でパンフレットを活用し、職員への説明をしている。成年後見制度の研修会等も積極的に参加している。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体研修の中で説明し、全職員が勉強している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	1	
理念に基 づく運 営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に時間をとって丁寧に説明している。医療連携体制については詳しく説明し家族の同意を得ている。契約解除に至る場合は、本人を交えて家族等と対応を相談している。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の言葉や態度から何をしたいのか本人の意思を大事に心がけている。利用者の日々の変化については意見交換し、常にスタッフ間で共有している。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月便りを発行し本人様の常の健康状況等を掲載し写真等で様子をお知らせし、郵送している。金銭管理は領収証を添付しサインを頂いている。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時等に気軽にお話して頂き、常に何でも言っ て頂ける雰囲気作りをしている。要望等については一方的なものにならないようにミーティング等で話し合い、反映させている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体研修会を月1回開催し、意見を出しそれについて全員で交換している。運営者、管理者は常に要望を聞く様に努め、出来る事、出来ない事の判断をしている。	1	全体の場では意見、不満が言いにくい為日頃から交流の場を設け交流会を開催していきたい。個人面談の必要性がある。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の暮らしを支える為24時間体制のローテーションを組み、柔軟に対応出来る様になっている。夜間の対応、状態の変化時の対応、緊急時連絡体制をとっている。スタッフが急病等の対応が出来る様に全ユニット交流研修会を実施しどのユニットでも対応できる体制を確立している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の固定化を図っているが、各ユニット間で異動体験交流を実施している。他ユニットの利用者、職員との交流又視線を変えてよい所を見出している。異動体験交流を今後も続け全職員が他ユニットの良い所、悪い所を報告している。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	1	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	求人採用については、年齢性別から採用対象から排除していません。各自の能力を発揮して頂き、生き生きと勤務して頂くように努めている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	全体研修を開催し、年間の予定の中に取り入れ、職員全員に勉強し関心を持たせている。各ユニットに専門書のコピーをファイルし、常に職員が読まれる場所に置いている。	1	全職員が真に関心を示し、人材教育啓発活動に取り組むことの出来る体制を再度確認してきたい。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外での研修を受け、職員の希望に応じ受講を認めている。働きながらの受講については勤務時間を配慮し、職員間でサポートしている。介護知識の向上に向け研修会等積極的に参加している。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	内部研修会に同業者の方に参加して頂き、交流も含めて違った目線からの意見を聞き話し合っている。今後も同職種の意見を参考にしながら勉強会をおこなっていく。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	月に1回親睦会を開き気分転換を図れる機会を作っている。「公・私」の悩み等を楽しく話し発散できるようにしている。仕事でも職員間で明るく接しチームワークが確立されている。管理者を中心に、それとなく声かけ等を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己評価票にて評価し、個々の努力、実績を把握している。各自の持ち備えたものを発掘している。常に声かけし各自の考えを聞いている。又話し合える場を多く設け、各自の体調管理も含めて見極めるようにしている。難しい面もあるが、毎日各ユニットへ出向きスタッフに気軽に話している。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	2	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	1	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく り と そ の 対 応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談時に生活状況を把握し、本人様の求めているものを見出し本人と向き合い本人様から信頼される関係作りをしている。時間をかけて見極め家族と相談しながらの関係作りをしている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族が求めているものを話し合い、どのような対応が良いか相談している。これまでの状態経緯を聞き落ち着いて頂ける様にしている。家族の困っている事等を面談の時点で聞き、家族の要望と本人との意思とは区別できるようにしている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の思いを確認し、相談を繰り返し必要なサービスにつなげるようにしている。可能な限り柔軟な対応を行っている。早急な対応が出来る様に努めている。	1	地域包括支援センター、他事業所との連携を深めていきたい。
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人様、家族の方の見学はもちろんのこと体験入所をして頂き、見極めながら安定的に利用して頂く様にしている。急に利用される場合は家族の協力と理解を深め安心感を与えている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	1	
係り と こ れ な 関 係 づ く り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人様の思いや苦しみを知る事に努めている。共に支えあえる関係作りに努めている。お互いが協働しながら和やかな生活が出来る声かけなどを行っている。セッティングや場面作りに工夫をしてお互いが意識をもたないで家庭的なムードづくりをしていっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いに寄り添いながら、家族と職員の思いが重なり、協力関係が築き上げられ同じ思いで支援している。面会時に利用者の様子をお話し家族との情報交換を行っている。家族と職員が一体化している。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の状況を見極めながら外出、外泊の要望を受け入れている。面会時、職員も一緒になり報告。本人の様子をこと細かく説明している。面会の少ない家族についてはこれからも便り等を通じ本人の様子等を連絡している。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からの友人、知人との面会希望については家族と連絡を取り了解して頂きながら、面会して頂いている。ドライブ途中にコースに入れるに様になっている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士のトラブルのないように職員が対話しながら努めている。毎日の茶話会の中でコミュニケーションを取り多くの会話が出来るようにしている。利用者同士のトラブル発生時点で互いの気持ちを職員が間に入り修復して行っている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院等でのサービス利用終了者へ通院等がある場合に同病院であれば面会をしている。終了者の情報を基に様子を伺う時もある。	1	行事などの参加をして頂く案内をしていく事に努めたい。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	3	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	1	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	声かけをし言葉や表現から確認している。家族と関係者からの情報を得るようにしている。家族の思いと本人との思いにくい違いがある為、家族を交えて話し合いをしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用前に本人様、家族からの聞き取りを行っている。本人様のお話や身近(友人)な人から把握できるように努めている。	1	これまでの暮らしの把握には時間が必要であるが、出来るだけ利用時点で把握できるようにしていきたい。 個人情報の問題
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活のリズムを大事にし、心理面での変化に対応できるようにしている。本人様が今何が出来るかを見出し注目できるようにしている。出来る事できない事を見極める事が大事であり、本人様に注目しながら引き出していき、感じ取っている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人様の思いや考えを聞き反映させる。ようにしている。スタッフ全体で意見交換を行っている。課題となる事を全員で話し合い介護計画に活かしている。アセスメントを含めスタッフ間の情報交換の場を増やしている。	0	
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族、本人様の要望を取り入れた状態が変化した時には、期間終了前であっても検討、見直しを行っている。スタッフの情報を確認し状態変化状況に応じて見直しを検討している。現時点の利用者の状況を見極めサービス提供状況を確認している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルを用意し、排泄の状況等を記録している。全スタッフが確認できるようにしている。申し送り等により、勤務前に確認している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の要望に応じ外出、外泊に対応している。なるべく事前の連絡をお願いし柔軟に対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	住居地域の自治会費等の集金にこられ対話して頂いている。地域の方が面会に来られ楽しくお話されている。	0	
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望、家族の要望に応じて訪問理美容サービスを利用して頂いている。	1	地域でのサークル等へ参加出来る事は検討課題である。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	成年後見制度が必要と思われる。利用者とは地域包括支援センターと協力しながら支援している。	1	運営推進会議への地域包括支援センターの職員の参加を呼びかけていきたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診や通院は本人、家族の希望に応じて対応している。基本的には家族の同行しているが不可能なときには代行している。訪問歯科の利用をしている。かかりつけ医院へ定期的に受診し今後も連携を図っていく。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門の医療機関と連携、定期的検診を行っている。家族と協力しながら三者一体となり、連携を取っている。専門医療機関と情報を共有している。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	各ユニットに看護師を従事し、常に利用者の健康管理を行い、介護記録をもとに連絡を取り合い連携を取っている。夜間帯の利用者の変化にも対応連絡し指示をあおいでいる。介護職・看護職と連携をとっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には情報提供書を医療機関に提出し、家族と相談しながら状況、状態の把握に努めている。指定医療機関と常に連携を保っている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	対応の仕方を定め家族も含めて医療機関との情報交換をしている。家族の思いを相談した支援を行っている。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族の意向を大事に医療機関との連携を取り利用者が安心して終末期を過ごされる様に努めている。急変については対応できるようにしている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	これまでの暮らしが損なわれない様にきめ細かい連携に心掛けている。事業所移動の時、情報提供書を作成し情報交換に努めている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	8	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	7	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全体研修を毎月 1 回開催しその場で意識向上を図ると共に利用者のプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。研修を通じて徹底しており、常にプライバシーの保護、言葉かけ等に注意を払っている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者に合わせた声かけを行い、表情を読み取り、本人が決定できる方法で自己決定が出来るようにしている。押し付ける事無く意志で決められるようにしている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には一日の流れはあるが、ひとり一人の体調に配慮しながら、本人の気持ちを尊重した支援をしている。本人の意思、確認、表情で「何をしたい」かが見極められる様に質を高めている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の意向で決めて頂き、職員は見守りし、必要な時は手伝うようにしている。自己決定が難しい利用者には職員と一緒に考え、本人の気持ちに沿った支援をしている。季節ごと衣替え等を利用者と一緒に行い、整理整頓をして頂いている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が同じテーブルで食事をし、楽しく食事できる雰囲気作りを大切にしている。食器洗い、拭き取りを役割として利用者さんと一緒にしている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の様子や時間を見ながら支援し、他の利用者に配慮している。居室内で飲食をする際は職員の見守りにて変化に対応できるようにしている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人の排泄パターンを把握し、声かけトイレ誘導している。排泄チェック表を記録している。トイレで排泄できるように支援している。リハビリパンツから通常の下着へ交換できる様に本人と話し合いながら支援している。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は本人の希望を聞き、職員の一時的な対応にならない様になっている。週3回を基本としている。	1	朝風呂などの本人の希望時間に応じられないのが現状であり、これからの課題としたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動を促し、一日のリズムが整えられる様に努めている。夕方から体調、表情、希望などを考慮し、就寝に向けてリズム安定させている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	3	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意な分野を發揮してもらい食器洗い、拭き取り、掃除等が出来る方には積極的に發揮して頂いている。ドライブや行事に参加して頂き楽しんでもらっている。ひとりに集中して負担しないように、納得していただきながら勤めている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	大半の方が金銭管理が難しく、買い物、欲しいものがあれば預かり金の中から処理しています。出し入れに厳しい方もおられその都度説明している。金銭管理が難しい方がいらっしゃる為、家族と相談し必要な時は手渡す事も大切だと思いい、家族と相談をしながら支援している。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月に2回ドライブ計画を立て、本人の体調、意思を確認し、季節を肌で感じて頂いている。本人の希望に応じて買い物に出かけ必要なものを購入して頂いている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の希望を聞きながら「花が見たい」「海が見たい」など出来るだけかなえられる様に計画を立てている。	1	家族と相談しながら希望をかなえられるように協力依頼をしていきたい。
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の要望があれば電話して頂いている。但し、相手方への協力を伝えて本人とお話をしていただいている。話をされる内容については他へもれることはない。	1	家族の要望で携帯電話を所持して頂いているケースもあるが、携帯の使用時はスタッフが扱うほうが望ましい。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族に対しても気軽に来やすい雰囲気作りをしている。面会時間の規定は無く、家族の都合の良い時間になっている。	1	午前中の面会時に家族の方へ職員が対応できないケースがあり、極力対応していきたい。
		(4)	安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)	自己評価8項目・外部評価2項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体研修(月1回)の中で説明し、職員の共有認識を図っている、身体拘束が行われていないか職員間で話しあっている。	0	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室入り口は施錠することなく自由な暮らしを支えるように支援している。利用者一人一人の傾向を把握して見守り、声かけをして安全面に配慮している。出て行かれる気配を見落とさない見守りを徹底している。	1	夜間帯の帰宅願望の強い方への声かけ等について勉強を行っている。
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者と同じ空間で事務作業を行い、さりげなく全員の状況を把握している。24時間利用者の安全面に配慮している。夜間帯の巡回を徹底し、利用者の確認できる場所での事務処理を行っている。	0	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険と思われる(ハサミ、ナイフ)物品については、本人と話し合い職員が保管し、必要な時本人の申し出により見守りしながら使用して頂いている。居室内持込時は職員と一緒に作業して頂いている。流し台周辺(包丁、ナイフ等)の整理又は洗剤類との保管場所については点検をしている。	0	
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状況に応じた事故を防ぐため、常に職員間で話し合い「ひやり、はっと」を報告している。事故発生時は速やかに事故報告書を提出。対策について検討し家族へ報告をしている。「ひやり、はっと」の記録を整理、保存し、事故防止策を検討し、職員全てが共有できる体制を確立している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全体研修を月1回開催し、年間計画の中に取り入れ勉強している。消防指導により救急救命等の訓練を実施し、全てのマニュアルが整備されている。	1	消防の指導による救急救命蘇生術の研修の回数を増やしていきたい。マニュアルは整備されているが、見直しを図れるものは見直していきたい。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、全ての訓練を実施し消防と一体化した訓練を実施している。自主訓練も積極的に取り組んでいる。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	車椅子、歩行器、杖使用については常に見守りをして誘導を徹底している。家族へ説明し理解を得ている。抑圧することのない生活をして頂いている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックを行い声かけし、本人様の体調管理をしている。体調や表情の変化も見逃さないよう早期発見に取り組んでいる。普段の状況は把握しているがカンファレンス等で情報の共有に努めている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルを作成し、処方箋の北 ^o -が整理されている。服薬時は本人に手渡し服用されるまで確認している。協力医療機関と連携し、本人の状態変化が即座にわかるように努めている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の多い食材の摂取を促し、自然な排便が出来る様に取り組んでいる。水分補給と運動をして頂き、排便コントロールがスムーズに行える様に取り組んでいる。	1	排便3日目に担当医の指示にて、下剤服用等をして頂いているのが出来るだけ自然排便が出来るように職員間で調整して行きたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨きの声かけを行い介助を行っている。就寝前は義歯の洗浄を行っている。口腔ケアの重要性を全ての職員が研修で理解している。	0		
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し職員が情報を共有している。食事摂取量をチェックし、できるだけ10割摂取して頂く様に体調をみながら促している。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	全体研修で全職員で学習して予防対策に努めている。うがい、手洗いの励行を家族に対しても協力して頂いている。特に流行時は職員も含めて万全を期している。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	湯のみ、まな板等は每晚漂白し清潔を心掛けている。冷蔵庫内の整理点検をし消費期限の確認をし処分している。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価8項目・外部評価2項目	1	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価5項目・外部評価2項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りできるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入り口に手作りの案内板を掲示し装飾をして季節感を演出している。飾りつけ等も不快感の無い様に明示している。	0		
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアへの飾り付け、家具の配置は利用者と一緒に考えて季節感を取りいれている。利用者が季節感を感じ取って頂ける様に利用者と一緒に飾り付けている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内にソファ、長椅子等を置き、良い空間を作っている。作品を飾りゆっくりくつろげて頂ける様に畳敷のスペースを設けている。椅子等の置き場については、利用者の移動時の障害にならないように工夫している。	0		
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス類以外にも利用者の好みや馴染みの物を用意して頂いている。写真等も居室に掲示し家族にも生活の様子が見れる様にしている。持込の品物については、家族と良く相談し本人の要望も聞き入れている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	フロアは換気を一定期間に稼働し、冷暖房についても利用者の体調に合わせて調整するようにしている。室内の冷暖房については体調をみてから稼働調整している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に合わせ、手すり、浴室、トイレ、廊下等の生活環境のあらゆる所に自立への配慮をしている。	1	利用者に合わせた環境作りが必要であり、見直せるべき所は見直していきたい。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	浴室、トイレ、洗面室、各居室入り口には、全て大きく名札を下げ又、矢印などでトイレの場所を方向指示している。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにお花を植え、季節毎に入れ替えを行っている。プランターに土を入れていただいたり、花が咲くとホール内に飾っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。